クラスターを防ぐために

①『持ち込まない』

・発熱・頭痛などの症状がありながら勤務している職員がいた

☛体調不良時は無理して出勤しないルールの徹底、人員の確保

クラスターを防ぐために

①『持ちこまない』

・職員一人ひとりの感染予防対策が徹底されていない

☛職員一人ひとりの意識向上、定期的な研修の実施

クラスターを防ぐために

②『広げない』

・職種によっては、ユニット間、フロア間をまたいで業務を行った

☛フロアの担当を固定する
これくらいなら大丈夫、などの自己判断をしない（ルール徹底）

クラスターを防ぐために

②『広げない』

・基本的な感染対策ができていない

☛施設・事業所内での定期的な研修
自身での体調管理
休憩・食事時の感染対策徹底

クラスターを防ぐために

②『広げない』　≪利用者間≫

・症状を訴えることができない

☛発熱等の体調変化があった場合は
抗原検査を実施

・居室内にとどまることが困難

☛可能な限り居室にいてもらう
難しい場合もエリアは限定する等

◆可能な限りマスクを着用する：重症化予防

クラスターを防ぐために

- 衛生用品の備蓄
- 法人内他施設、連携事業所との応援体制の構築
- 施設・事業所内でのゾーニング
- 日頃から職員同士の情報共有
- 業務継続計画（BCP)の作成

チェックリストを活用

①定期的に確認する

コロナ発生から時間がたち、慣れがでてきていませんか？
または、忙しくて簡略化していませんか？

②対応に不備があれば改善する

実践することではじめて感染防止対策になります
リストの確認事項の内容・理解に不安がある、
またはわからないところがあれば、長寿福祉課地域包括
ケア推進室に相談してください。

③「感染を広げないための4＋4つのポイント」も確認